

第6学年3組 社会科学習指導案

平成25年11月12日(火) 第5校時

6年3組教室 指導者 小澤 貴彦

1 単元 ぼくらは新聞記者 ～明治政府の富国強兵政策を評価し、記事にまとめよう～

2 目標

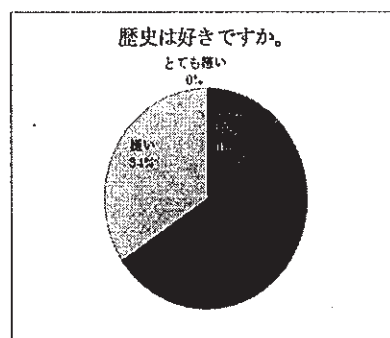
- (1) 黒船の来航とその後の世の中の変化や明治維新にかかわる人物の働きなどに関心をもち、進んで調べることができる。(関心・意欲・態度)
- (2) 明治政府が進めた政策の意図、またそれに反対する人々の願いについて思考・判断し、適切に表現することができる。(思考・判断・表現)
- (3) 黒船の来航とその後の世の中の変化や明治維新にかかわる人物の働きについて、資料を活用して必要な情報を集めて読み取り、まとめることができる。(技能)
- (4) 我が国が欧米の文化を取り入れつつ、廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い、近代化を進めたことが理解できる。(知識・理解)

3 単元構想

(1) 単元について

本学級は、男子18名、女子14名、合計32名の学級である。明るく、活発な児童が多く、授業においても意欲的に調べたり、自分の意見をノートに書いたりしようとする姿がよく見られる。しかし、自分の意見から一歩進んで考えることができている児童は少数である。

社会科の学習に関しては、2学期始めに「歴史は好きですか」と聞いたところ、「とても好き」、「好き」と答えた児童は21人、「嫌い」と答えた児童は11人であった。「嫌い」と答えた理由については、「人物の名前が覚えられない」「難しい言葉が多い」という意見が多かった。新たな人物、用語が次々に出てくることや、その用語がどんなことを表しているかがイメージしづらいことが原因と考えられる。



小学校学習指導要領第6学年の内容(1)キでは、「黒船の来航、明治維新、文明開化などについて調べ、廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことが分かるようにすること」をねらいとしている。

「富国強兵」や「殖産興業」をスローガンとして、我が国の近代化は短期間のうちに進められた。この幕末から明治初期にかけての歴史的事象を具体的に調べていけば、我が国の近代化をとらえることができる。また、明治維新では、天皇を中心とした新政府ができ、諸改革により近代的な政治や社会の仕組みが整った。さらに、欧米の思想や文化が広く取り入れられ、当時の人々の生活も大きく変化した。

これらの歴史的事象を絵図や年表、地図等の資料を基に考えることを通して、資料から読み取った情報を基に、時代の様子の特徴や歴史的事象の意味について考える力を育成することができる。さらに、考えたことを、資料を基に説明させることを通して、根拠を明確にしながら自分の考えを説明する力の育成も図ることができる単元といえる。

本単元では、初めに「明治維新では、どのような人たちが、どのような思いで国の仕組みや社会を変えていったのか」ということを考えさせていく。廃藩置県、四民平等、富国強兵など明治政府が行った諸政策を取り上げ、大久保たちがどのような国づくりを進めようとしたのかを具体的に理解できるように留意

し、欧米に追いつき、追い越したいという思いや願いにも気づかせたい。

それを踏まえた上で、「新聞記者となって、明治政府の富国強兵政策を評価し、記事にまとめよう」と呼びかけ、明治維新で政府の行った政策のプラス面とマイナス面についても考えさせていく。調べ学習をしながら政策ごとのまとめを作成し、それぞれの政策についての評価もしながら、社会形成についての自分なりの考えを構築させたい。

幕末から明治維新にかけては、政治や経済の状況、それに伴う社会や国際関係の変化が大変複雑で、急速な展開となっている。また、政治に関する記述や難語句も多く、多くの児童にとっては当時の状況を理解することが困難になることが予想される。そこで、事象にかかわる資料や図表、NHKデジタル放送のクリップなどを活用し、授業展開を工夫していく。学習内容と関連する具体的な資料・映像等を提示し、視覚に訴えることで、学習への意欲づけを図り、理解を促していきたい。

(2) 碧教研テーマとのかかわりについて

本年度の研究テーマは、「社会に参画していこうとする子どもの育成をめざし、仲間とかかわりながら問題の解決を図る社会科の授業」である。国内経済はデフレスパイラルの状態にあり、また東日本大震災により、東日本の人々のくらしは大変苦しい状態が続いている。さらに、地球温暖化対策やエネルギー問題など世界規模の課題もある。これらの課題を解決していくには、社会の事象をきちんととらえ、改善の糸口を見つけて行動していくことが肝要である。時代を担う子どもにとっては、自分の考えや確かな価値観をもつとともに、まわりの人々と価値観を共有しようとしたり、共に行動しようとしたりすることによって、よりよい社会を創っていくこと、つまり「社会に参画していこうとすること」、「仲間とかかわりながら問題の解決を図ること」が求められている。

「社会に参画していこうとする子どもの育成」を目指すため、児童一人一人に積極的に社会の事象をとらえさせ、その意味や問題について考える姿勢をもたせたい。本単元では、当時の日本の社会の様子を十分に理解させ、その上で社会の在り方や意味、問題点などについて改めて考えさせていく。欧米に追いつき、追い越したいという明治政府の思いと、急激な世の中の変化に対応できなかった人々の不満、その両方を捉えさせた上で、当時の国づくりへの自分の意見をもたせることで、「社会に参画していこうとする」姿勢を身につけさせていきたい。

また、「仲間とかかわりながら問題の解決を図る」ために、児童一人一人に根拠のある自分の考えをもたせ、その考えを小集団や全体の話し合わせる活動を行っていく。自らの考えを友達のと「関連づけ」、「選択し」、「再構成させて」いくことを通して、児童の見方や考え方を広げ、深めさせていきたい。また、進んで仲間とかかわることができるよう共感的な人間関係を築き、互いの考えを比べながら良さや関連性を見つけて認め合える環境づくりにも努めていきたい。

4 指導計画（9時間完了）

- (1) 江戸時代と明治時代の様子を比較し、変化の理由を予想する …… 1時間
- (2) 黒船の来航から倒幕までの様子について調べる …… 2時間
- (3) 明治維新で政府が行った新たな政策について調べる …… 4時間
- (4) 明治維新で政府が行った富国強兵政策について検討する …… 1時間（本時）
- (5) 富国強兵政策に対する自分の意見を新聞の形にしてまとめる …… 1時間

単元構想 ぼくらは新聞記者 ～明治政府の富国強兵政策を評価し、記事にまとめよう～（9時間完了）

江戸時代と明治時代の様子を比較し、変化の理由を予想する（1時間）

江戸時代と明治時代の様子を比べて、違いを見つけよう

- ・洋服を着ている人がいる
- ・髪型がちよんまげではない
- ・街灯のようなものがある
- ・刀を持っていない

どうしてたった十年で町の様子がこんなに変わったのかな？

- ・江戸時代が終わったからかな
- ・外国の文化が入ってきたからかな



黒船の来航から倒幕までの様子について調べる（2時間）

黒船来航時の様子を見て気づいたこと

- ・あわてている
- ・日本の船は小さいのに黒船は大きくてとても強そう

日本は戦うべき？ それとも開国すべき？

- ・手紙を見ると、不平等な条約を結ぼうとしていることが分かるので戦うべき
- ・黒船と戦っても勝てるはずがないので開国すべき

開国をしたことでどのような影響があったのかな？

- ・米や生糸などの値段が上がった
- ・町人や下級武士などの生活は苦しくなった
- ・人々の幕府への不満が高まった

江戸幕府が倒れた後、日本はどのように変わっていくだろう？

- ・外国にまけない強い国づくりを目指していくと思う
- ・外国の文化を取り入れていくと思う



明治維新で政府が行った新たな政策について調べる（4時間）

明治政府はどのような国をつくることを目指していたのだろうか？

- ・みんなで意見を出しあって政治をする国
- ・知識を世界から学んで発展する国

明治維新で政府が行った新たな政策について調べよう

- ・殖産興業
- ・四民平等
- ・廃藩置県
- ・徴兵令
- ・地租改正

改革の中心となった大久保利通は、どのような思いで改革を行ったのかな？

- ・日本を外国に負けない強い国にしたいと思った
- ・日本は外国に遅れていると感じていた

大久保利通が中心となって行った富国強兵政策に賛成の記事を書くか、反対の記事を書くか考えよう

- ・殖産興業政策により近代的な工業が発達したから賛成の立場にしようかな
- ・徴兵令では徴兵逃れをした人もいたし、地租改正で苦しんでいた人もいたから反対の立場にしようかな



明治維新で政府が行った富国強兵政策について検討する（1時間）※

当時、明治政府が富国強兵政策を行ったことに賛成？ それとも反対？

- ・賛成。殖産興業を進めたから欧米などに追いつくことができたと思う
- ・反対。地租改正で税金の負担が増え、徴兵令で軍隊にも入り、貧しい人の負担ばかりが増えた

政府が行った富国強兵政策はどうするとさらにより改革になっただろう？

- ・徴兵制のように全員に軍隊に入らせるのではなく、やりたい人のみ入る仕組みにすればよかったと思う
- ・地租改正は不作のときは、税を軽くすると農民たちの不満がへったと思う



富国強兵政策に対する自分の意見を新聞の形にしてまとめる（1時間）

5 本時

(1) 目 標 富国強兵政策のプラス面・マイナス面に注目し、根拠を明確にして自分の考えを表現することができる。(思考・判断・表現)

(2) 評価基準

A…富国強兵政策のプラス面・マイナス面に注目し、根拠を明確にして自分の考えを表現することができる。

B…富国強兵政策について、根拠を明確にして自分の考えを表現することができる。

(3) 児童への手立て

① B基準の児童

異なる立場の意見にも注目させる。

② C基準の児童

なぜそのように思ったか理由を書くよう助言する。

(4) 準備 教師…人物写真、センテンスカード 児童…教科書、ノート、資料集

(5) 展開

○授業づくりの目標 … 「友達の見聞をしっかりと聞いて考え、自分の意見を発表する。」

時間	学習活動	教師の支援、留意点及び評価
1	1 前時までの学習内容を確認する。	・人物写真やセンテンスカードを提示しながら富国強兵政策について確認する。
5	2 明治政府が行った富国強兵政策についてどのように思うかを話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 当時、明治政府が富国強兵政策を行ったことに賛成？ それとも反対？ </div> <p><賛成></p> <ul style="list-style-type: none"> ・官営工場を建て、外国の技術を取り入れたことで日本の工業が発展した ・外国に対抗できる近代的な軍隊をつくるために徴兵制は必要だった。 <p><反対></p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業の生産は増えたが、工場の人々が働く環境はよくなかった ・地租改正で税金が増え、徴兵令で軍隊にも入り、人々の負担は増えた 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に決めた立場をもとに黒板にネームプレートを貼らせる。 ・理由を発表させる際、同じ意見や似ている意見の児童に続けて発表させる。 ・立場、政策ごとに意見を整理しながら板書する。 ・それぞれの立場の意見が出そろった後、逆の立場の意見を聞いて考えたことを発表させる。 ・片方の立場に意見がかたよる場合や話し合いが停滞するような場面では、異なる視点から意見を書いた児童を意図的に指名し、考えをゆさぶる。 ・国や政府の立場で考えるとプラス面が多かったが、民衆の立場から考えるとマイナス面が多かったことをおさえる。
30	3 政府が行った富国強兵政策はどうするとさらによい改革になったかを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・徴兵制のように全員に軍隊に入らせるのではなく、やりたい人のみ入る仕組みにすればよかったと思う。 ・地租改正は不作のときは、税を軽くすると不満がへったと思う。 ・軍隊は士族と希望をする人のみにすると人々の不満は減ったと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートに自分の意見を書かせる。なかなか意見を書くことができない児童には、マイナス面を改善するにはどうすればいいかを考えるよう助言する。 ・近くの子とノートを見せ合わせる。その際、いいと思った意見は参考にしてよいことを伝える。 ・全体で意見を交流する。
42	4 富国強兵政策についての自分の意見を書	・授業の内容をふり返りながら、最終的な自分

く。	<p>の意見をノートに書かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机間指導し、根拠がはっきりしない児童には、なぜそのように思ったか理由を書くよう助言する。 <p>【評】思考・判断・表現：富国強兵政策のプラス面・マイナス面に注目し、根拠を明確にして自分の考えを表現することができたか。(ノート)</p>
----	---

6 板書計画

ぼくらは新聞記者 ～明治政府の富国強兵政策を評価し、記事にまとめよう～

11/12 (火) 当時、明治政府が富国強兵政策を行ったことに賛成？ それとも反対？

		＜賛成＞ ネームプレート	＜反対＞ ネームプレート	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">大久保 利通の写真</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">富国強兵 →国を豊かにして 軍を強くする</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">殖産興業</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">徴兵令</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">殖産興業</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">徴兵令</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">地租改正</div>	→	<div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">(国・政府) ○</div> <div style="margin-bottom: 10px;">工業発展 夢のよう</div> <div style="margin-bottom: 10px;">近代的な軍隊 外国に対抗</div> <div>国の収入安定 さらなる発展</div>	<div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">(人々) △</div> <div style="margin-bottom: 10px;">環境悪 長時間の労働</div> <div style="margin-bottom: 10px;">兵役逃れをする人も 自由に働くことできない</div> <div style="margin-bottom: 10px;">税の負担増 始め3%→2.5%に減 一揆も発生</div> <div>作物が取れないと苦しい</div>	<p>政府が行った富国強兵政策は どうするとさらにより改革に なっただろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軍隊は希望する人のみに 元武士(士族)に ・地租は不作のときは税を軽く 少しずつ高く ・官営工場は長時間の労働を禁止 ・人々の意見も聞きながら

ご高評